

夫「娘の心臓くれ」私「はあ？」→どうやら夫の従姉妹が心臓移植が必要で、“実の娘の心臓”を差し出そうとしたらしい→「娘が死ぬんだけど？」私ブチギレ、結果・・・

私...サユリ 30代前半 兼業主婦
夫...ケンジ 30代前半 会社員
娘...マユミ 中学生

1コマ

娘「お父さん！今日誕生日でしょ？これ...プレゼント！」
夫「...プレゼントつってもどうせ俺の働いた金だろ？」
私「...アナタ...。この子それ買う為にお手伝い沢山してくれたのよ？」
夫「それが？俺が毎日どれだけ大変か...馬鹿にしてるのか？！」

2コマ

私の名前はサユリ。
夫のケンジと結婚して10数年。
一人娘のマユミも授かっており幸せ...な筈なのだがどうもそうではない。
兎に角夫がマユミを邪見にするのだ。それは幼い頃からずっとで...理由は聞いてもわからない。

3コマ

私「...どうしてアナタはいつもマユミにつらく当たるの？娘なのよ？」
夫「娘ね...娘だったら無条件に愛する必要があるのか？」
娘「もういい！！お父さんなんか大嫌い！」
夫「ほら！こいつもこう言ってんじゃないか。誰のお陰ででかくなれたと思ってるんだ？！」

4コマ

大人げないとしか言いようのない夫の言葉。
それは娘を傷つけている事は明白だった。
ただでさえ難しい思春期へ突入している娘。それでも親の私や夫に気を遣う優しい娘なのに...。
私（一体どうして...。理由が全くわからないわ...）

5コマ

もしかしたら...と思い当たる事は1つだけあった。
それは娘が産まれた時。
娘を見に来た夫と私の共通の知人男性が一言「嫁さんにそっくりだな！お前に似てないんじゃないか？」と言った事。
その時夫は黙り込んでしまい...しばらく考えこんでいた事を今でも覚えている。

6コマ

私（でも...笑いながら「冗談！」って言って言ってたし...そういうのって言う人はいうもんじゃないの？）

もしかしたら冗談が嫌いな人なのかも？など色々考えたが...

それだと娘に冷たい理由が見当たらない。

私（異性だから接し方がわからないとか...そういう感じなのかしら？）

7コマ

どちらの実家とも遠方であるため夫の手伝いも一切ないどころか気に食わないとキレられる生活。

そんな中での育児はかなり大変だったが何とかここまでやってきた。

私（娘も中学生になって私も社員で雇われたし、家事とかほんとによくしてくれるんだけどな...）

私にとっては「どこにだしても恥ずかしくない」と思える娘に育っているのに...と悩みは尽きなかった。

8コマ

そんなある日。

娘が「おやすみ」と自室へ行った後、夫がこんな事を言ったのだ！

夫「娘の心臓をくれ」

私「はあ？」

正直耳を疑った。全く意味がわからなかった。

9コマ

私「何の話をしてるの？」

夫「俺のさ...親父の妹の子供だから従姉妹にあたる高校生の子がいるんだけどさ」

私「うん。その子がどうかしたの？」

夫「心臓移植が必要でさ。順番待ちだっけ？間に合うかわからないらしいんだよ...」

私「それがどうしてマユミの心臓と関係あるのよ？」

10コマ

夫「大有りだろ？マユミの心臓でその子が助かるんだぞ？」

私「何言ってるの？そしたらマユミが死ぬんだけど？」

夫「...それがなんなんだ？」

私「はあ？！何言ってるのアナタ！実の娘なのよ？！馬鹿言わないで！！」

11コマ

今まで大概いう事は聞いてきたと思う。

まるで「大きな息子」のように我儘を言う夫の要求に答える為に娘に我慢をしてもらった事すらあった。

私「一体どういう事？信じられない...いくら何でも酷すぎるでしょ?!」

夫「何が酷いんだ?って言うか実の娘ってなんだよ!俺の娘じゃないだろう?」

私「へ?」

12コマ

この時本当に間抜けな声が出たと思う。夫は何故かドヤ顔になり続けた。

夫「俺が知らないとでも思ったのか?浮気相手との子供なんだろ?俺に托卵しやがって!!」

私「ちょっと待って。何言ってるのかわからないんだけど」

夫「は?今更だろ?生まれてすぐの頃に「俺に似てない」って言われたじゃないか!!」

13コマ

夫がずっと娘に冷たかった理由は、知人男性の心無い冗談ひとつだったのか...

私「...あのさ...。私が浮気してたと思ってるの?」

夫「ああ。どうせ今も続いてるんだろ?俺に妙に優しくしたのは後ろめたいからなんだろ?」

私「私は誓ってそんな事はしてません!優しくしたのも家族で仲良くしていたかっただけよ!」

14コマ

夫「嘘言え!!麻衣子さんも言ってたぞ?!女は浮気するもの!どこの奥さんでもやってるってな!」

私「...は?」

私（まさか...ね...?）

ここで私は机の下でスマホを操作し、録音を開始した。

15コマ

私「...麻衣子さんって誰?」

夫「叔母さんだよ!お前と違って綺麗で魅力的な女性だよ。色々相談に乗って貰ってるんだよ!ずっと前から」

私「そうなんだ。それがどうして私の浮気の話になるの?」

夫「誰でもやってる事なんだろ?麻衣子さんだって...俺の本当の娘を旦那の子供として育ててるんだからな!」

16コマ

決定的な言葉だった。

夫は浮気をしている...どころか自分が托卵してるんじゃないか!という事は従姉妹って...もしかして...

私「そんなツライ事...耐えられないわ」

すると夫は記入済みの離婚届を私の前に出してこういったのだ。

夫「確かにそうなればお前と居る意味もない。マユミは置いてお前だけ出ていけばいいさ。」

17コマ

まるで「俺って優しいだろ？」とでも言いたげな顔で言われて正直吐き気がした。

私（こんなとんでもない話、夫の実家の人は知ってるの？それとも実家の指示なの?!）

兎に角娘が危険だ！何とかしなければ...と思った私は出来るだけ平静を装い夫の話を聞き続け...離婚届を受け取った。

夫「今まで養ってやったんだし！マユミからは心臓を貰うけど、お前からは手術にかかる費用を慰謝料代わりに貰うぞ」

18コマ

そこまで言うとな夫は「早くな！」と言い寝るために寝室へ入っていった。

私（逃げないと...マユミと一緒に!!）

次の日、会社へ出勤する際に夫はマユミに聞こえないようにか私に耳打ちで「今日中にな！」と言って家を出た。

ここからの私の行動は早かった。

19コマ

私「マユミ...。今日は学校休んでもらってもいいかな？」

娘「いいけど...なんで？」

私「後...お母さんね。お父さんと離婚しようと思ってるの。いいかな？」

娘「...全然いいよ。私家事やるし！！っていうか...お父さんいない方が家事も楽かも...」

20コマ

娘の許可も得た事で必要な荷物のみをまとめて2人で家を出て実家へ向かった。

途中で市役所へ寄り自分の所も記入した離婚届を提出。勿論「親権」などの欄は私だ。

夕方には実家へ到着し、突然やってきた私と娘に両親は驚いていたが...録音していた夫との会話をイヤホンで聞いて貰った。

結果父は激昂し、母は泣いて「もう大丈夫よ。守るから！」と言ってくれた。

21コマ

夫の仕事が終わるであろう時間になり...帰宅したらしく断続的に電話がかかってきたが無視。

LINEも大量に着信があったので見てみると「マユミは?」「俺の娘がどうなってもいいのか?」

などに始まり、次第に暴言へと変わっていった。

私（従姉妹っていうのがアナタの娘なのね...）

22コマ

次の日は夫の実家からの鬼電で目を覚ます事になった。

義母「どういふことなの?! 浮気して勝手に離婚届出してマユミちゃん連れて出ていったって聞いたけど!」

私「...それは違います。理由を...お伝えします」

娘が母の手伝いをしてくれている間に義母だった人と話をした。電話の向こうでは...泣いているような声が聞こえた。

23コマ

録音していた会話のコピーしたデータを送る事を約束し、電話を切った私。

娘「お母さん! 見て! おばあちゃんとケーキ作ったのよ?」

私「すごいじゃない!」

娘の命を守る事が出来た事に...私は安堵したと共にそれからの生活を頑張るために気合いを入れた。

父からいい弁護士を紹介してもらい、慰謝料請求は全てその人にお願いした。

24コマ

幸いにして私の仕事は在宅で行う事も可能だったため、会社とは連絡を取りつつ時折出張という形で会社へ行く事になった。

私「こちらの家庭の事情で...すみません...」

上司「何言ってるの! っていうか...あの旦那さんなら納得よ...」

聞けば夫は私の会社へも「嫁を出せ! マユミの心臓!!」と乗り込んだらしかった。

もはや奇行としか思えない暴走っぷりにただただ会社に謝った。

25コマ

それから...娘も私実家の方の中学へ転校し、実家近くのマンションを借りて平穏な日々を送る事が出来た。

しかし元義母が「離婚しました」と連絡をくれた事により、事の顛末を知る事が出来た。

元夫は本当に叔母にあたる父親の妹と...学生の頃から関係を持っていたらしかった。何でも叔母から関係を迫ったとの事。

ずっと関係は続き...そもそも私との結婚はカモフラージュのような物だったという事もわかった。

26コマ

そして肝心の「移植が必要な病気の従姉妹」だが...

罪のない子供にまで運命は残酷ではなかったようで、その子は順番が繰り上げになり手術を受ける事が出来たそうだ。その点は少しほっとした。

だが元義実家親族内は泥沼の修羅場の最中のように元夫は会社からの信頼も失いクビにもなったらしいが...関係ない。

娘の命を差し出そうとしたのだ。当然の報いだと思う。